

錦光園

報道資料 Press Release

2022年10月31日

奈良墨の新たな価値を創出

「おはじき墨」

クラウドファンディングで先行販売開始



奈良の伝統産業、墨づくりを営む墨工房「錦光園(きんこうえん)」は、この度、歌人に擬した十二支の歌合をきっかけに、狸など他の動物も巻き込んで合戦に発展する室町時代の物語『十二類歌合絵詞(じゅうにるいうたあわせえことば)』をおはじきサイズの墨の上に表現した「おはじき墨」を、2022年10月30日(日)よりクラウドファンディングにて先行販売開始したことをご案内いたします。

「おはじき墨」として用意したのは、絵巻に登場する十二支のキャラクターの意匠が施された12個の墨で、『十二類歌合絵詞』の冒頭の十五夜の歌合を独立させた狩野大学氏信『鳥獣絵巻 十二類歌合』を原形としました。『十二類歌合絵詞』は、歌人に擬した十二支の歌合をきっかけに、狸など他の動物も巻き込んで合戦に発展する物語ですが、十二支とそれには属さない動物たちが対立する構図や、各動物の個性が反映した描写も巧みで、歌仙絵や歌合の

錦光園

パロディとしても秀逸です。[国文学研究資料館](#)¹も、その HP で「和歌や画中詞も深い知識に基づいており、室町期の学芸享受を考える上でも見逃せない作」として紹介している文化的価値の高い作品です。

その繊細でどこかユーモラスな世界観をその見事な技術力で「おはじき墨」に再現するのは、卒寿を迎えた国内唯一の墨木型彫刻師、中村雅峯（なかむらがほう）氏による墨木型です。中村氏は、深さ約 0.2 ミリ、大きさをたった 3 ミリの文字を片面に 500 文字ずつ、表と裏を合わせて 1000 文字を彫り上げた墨型の大作「千字文」も手がけられ、その技術と功績から黄綬褒章を受賞された職人です。たった 3cm ほどの小さな「おはじき墨」の上に、1000 年以上続く奈良墨の技術、伝統を存分に感じていただければと思います。泥砥石のイメージカット

錦光園がクラウドファンディングを実施するのは 2 回目です。2021 年 7 月に「奈良墨」の危機 1000 年以上続く文化と伝統を守りたい！」と訴え、目標額の 10 倍を超える 2,862,000 円の支援をいただきました。その活動内容は[こちら](#)²にてご確認ください。

おはじき墨の特徴

特徴 1) 奈良墨の新たな価値創出。新しいビジネスの可能性を広げる作業工程。

墨づくりは、元々は型屋、墨屋、磨き屋、彩色屋の完全分業制度で成り立っています。墨屋での乾燥には半年以上の時間を要し、日々置き方や場所を変える必要がありとても時間と手間がかかるものづくりです。一方、瞬間に全世界に情報が流れるデジタル世界においては、消費者のニーズも一年もすると大きく変わっています。どんなに素晴らしい商品であったとしても、今の消費者のニーズに合ったモノづくりの体制を整えずに生き残っていくことは難しくなっています。

おはじき墨は、その大きさ、形状、作業工程を変えることで、オリジナル製品の開発や製作期間を短くするなどのリクエストに応えやすくなりました。既に企業とのコラボレーションが 2 件進行中です。

特徴 2) 日本で唯一の「墨木型彫刻師」中村雅峯氏が本企画に合わせて特別に木型を製作

中村氏は、23 歳から墨木型作り一筋、中村家 7 代目として卒寿を迎えた今も活躍する現役墨木型彫刻師です。墨木型彫刻を生業とする唯一の職人です。深さ約 0.2 ミリ、大きさをたった 3 ミリの文字を片面に 500 文字ずつ、表と裏を合わせて 1000 文字を彫り上げた墨型の大作「千字文」も手がけられ、平成 28 年にはその技術と功績から黄綬褒章を受賞。その卓越した表現力で、小さな墨の上に繊細でどこかユーモラスな世界観を再現してくれています。（中村雅峯氏の詳しい紹介は[こちら](#)³へ。）



¹ https://www.nijl.ac.jp/pages/cijproject/image_present_fumi13.html

² 錦光園 HP <https://kinkoen.jp/info/news/2741/>

³ 錦光園 HP <https://kinkoen.jp/hito/nakamuragaho/>

錦光園

特徴 3) 地元奈良で和裁の伝統を守る「大原和服専門学園」の学生さんが一つ一つ手縫いした『笹蔓手金更紗(ささつるできんさらさ)』を再現した裂で作った袋

日本の手作りの真髓を存分に感じていただくために、おはじき墨を入れる袋にも工夫を凝らしています。印度更紗の中でも構図に非の打ちどころもない端正さと高貴な趣により、時代を超えて大名や富豪達にも好まれた貴重な笹蔓手金更紗を、地元奈良で和裁の伝統を守り、そして引き継ぐ人材を育てている「大原和服専門学園」の生徒の皆さんが、一針ひと針心を込めて縫ってくれました。裂袋は小さいので細かい作業になるため、着物を作るより難しく、最初の袋を製作するのに何と3時間ほどかかっていたそうです。何個も何個も製作していく中で、最終的には1つにつき1時間程度で完成するようになったそうですが、数百個の袋を完成させると考えると気が遠くなります。手縫いされた袋はしっかりと手に馴染み、豊かな気持ちにさせてくれます。(大原和服専門学園の作業の様子は[こちら](#)⁴へ)



クラウドファンディング

<https://readyfor.jp/projects/88685>

返礼品詳細

- **奈良墨再興応援コース（非売品・ワケアリ奈良墨の福袋付） | 100,000 円コース+システム使用量**

> 通常は市場で手に入らない奈良墨 20 点をランダムにお送りします。

* 乾燥時に割れがでてしまった奈良墨、工場の奥で長年眠っていた奈良墨、固形墨としては問題なく使えますが何らかの事情でお客様の手には届かなかった奈良墨をお届けします。内容はお選びいただけませんので、あらかじめご了承くださいませ。

> お礼のメール



- **奈良墨再興応援 | 100,000 円コース+システム使用量**

リターンをお届けしないかわりに、いただくご支援をできるだけ多くプロジェクト実施のために使わせていただくコースです。

> お礼のメール



- **奈良墨再興応援コース（非売品・ワケアリ奈良墨の福袋付） | 50,000 円コース+システム使用量**

> 通常は市場で手に入らない奈良墨 10 点をランダムにお送りします。

* 乾燥時に割れがでてしまった奈良墨、工場の奥で長年眠っていた奈良墨、固形墨としては問題なく使えますが何らかの事情でお客様の手には届かなかった奈良墨をお届けします。内容はお選びいただけませんので、あらかじめご了承くださいませ。

> お礼のメール



- **奈良墨再興応援 | 50,000 円コース+システム使用量**

リターンをお届けしないかわりに、いただくご支援をできるだけ多くプロジェクト実施のために使わせていただくコースです。

> お礼のメール



⁴ 錦光園 HP <https://kinkoen.jp/info/2590/>

錦光園

- **日本で唯一人の墨木型彫刻師が手がけた『十二類歌合絵詞』木型を使って作った十二支「おはじき墨」 | 13,000 円コース+システム使用量**

> 日本で唯一人、専門の墨木型彫刻師 中村氏が『十二類歌合絵詞』の世界感を再現した木型を使って作った十二支「おはじき墨」 子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の 12 点セット



> 『笹蔓手金更紗』模様を復元した裂袋のパッケージに入れてお届けします。
> お礼のメール

- **奈良墨再興応援 | 13,0000 円コース+システム使用量**

リターンをお届けしないかわりに、いただくご支援をできるだけ多くプロジェクト実施のために使わせていただくコースです。

> お礼のメール



- **廃業した墨屋の木型で作った「おはじき墨」8 点 | 7,000 円コース+システム使用量**

> 墨屋の廃業により使われなくなった奈良墨木型を使用したおはじき墨 8 点（デザインはお選びいただけません）

> お礼のメール

* すみのパッケージは桐箱です。



- **奈良墨再興応援 | 7,000 円コース+システム使用量**

リターンをお届けしないかわりに、いただくご支援をできるだけ多くプロジェクト実施のために使わせていただくコースです。

> お礼のメール



- **廃業した墨屋の木型で作った「おはじき墨」4 点 | 4,000 円コース+システム使用量**

> 墨屋の廃業により使われなくなった奈良墨木型を使用したおはじき墨 4 点（デザインはお選びいただけません）

> お礼のメール

* すみのパッケージは桐箱です。



- **奈良墨再興応援 | 4,000 円コース+システム使用量**

リターンをお届けしないかわりに、いただくご支援をできるだけ多くプロジェクト実施のために使わせていただくコースです。

> お礼のメール



錦光園について

江戸時より代々150年以上、伝統を守り昔ながらの製法で「奈良墨」を一つ一つ手作りで作り続ける墨工房。明治時代、奈良でも由緒ある墨工房「古梅園」の職人であった長野亀吉が独立・創業し、錦光園として新たな歴史をスタートさせました。以来、奈良に伝わる伝統的な製法による墨作りを今日に至るまで続け、現在は六代目墨匠・長野墨延と七代目墨匠・長野睦が、その伝統を守り続けています。

自社の未来と同様に常に産地の未来を考え、国内外に日本の墨文化、書道や水墨画の素晴らしさを伝え、墨作りの産地を守る『墨守』として、15年以上前に、工房内で一般向けに、墨に関する講義や製造の実演見学や、実

錦光園

際に参加者に墨を制作してもらう「にぎり墨体験」をスタートし、また 2022 年 11 月からは出張交通費⁵、講師料無料で日本の 47 都道府県どこへでも伺い、墨の魅力と文化を伝えるワークショップ「すみからすみまで墨のおはなし」をスタートしています。工房での「にぎり墨体験」は、国内外含め年間 4,000 人以上が訪れる人気コンテンツの一つです。他にもインテリアとして喜ばれる「香り墨 Asuka」や「菓子木型墨」など、墨のもつ別の可能性を引き出す商品開発を始め、墨づくりに携わる職人を同業者の立場から取材し紹介する「奈良墨のひと」など、様々な墨や産地の普及活動を行っています。

<https://kinkoen.jp/>

錦光園への取材に関するお問い合わせは

錦光園 長野 睦

電話番号：0742-22-3319 090-4561-8191

⁵ 会場が最寄り駅から遠方の場合は、最寄り駅からの往復送迎だけお願いしています。